



当山第三十三世貫主 川澄祐勝大僧正句碑



鳴り止まぬ 塔の風鐸 天の川

別格本山高幡山金剛寺 貫主 杉田 純一

この句は先代川澄大僧正が詠まれたもので、奥様が一番好きな句であります。

先代が俳句を始められたきっかけは、師僧の先々代の秋山大僧正が俳句をたしなまれており、「坊主であるなら俳句のひとつも出来なければ」と師僧に言われたことにあったそうです。ただ秋山大僧正が存命中の先代は、総務部長として寺の運営全般を取り仕切ることがもちろんのこと、さらに会計をも任されており、俳句は片手間にするような状況であり、本腰を入れて俳句に取り組むようになったのは、平成元年に高幡山第三十三世の住職を拝命し、春耕俳句会の主宰であった皆川盤水先生に手ほどきを受けたことからであったと記憶しております。その後は、『煤掃』『風鐸』『御廟みち』『俳人協会自註俳句シリーズ川澄祐勝集』『四季を楽しむ』の五つの句集を発表しています。

川澄大僧正は昭和三十一年に高幡山に入られてから六十二年の長きにわたりお山を見つめ、住職となられてからは宝輪閣の建立、重文不動三尊の修復、新丈六不動三尊の造立、奥殿の建立、大日如来と虚空蔵菩薩像の造立、大師堂・聖天堂の建立等を行いました。また、今ではあじさいの寺として多くの方に知られておりますが、毎年のように新たな品種のあじさいの苗を加え、さらに千本のもみじと十万株の彼岸花を植えられ、常に「高幡のお不動さまは皆さまに支えていただいている寺、皆さまに一年中楽しんでいただける寺、命の洗濯をしていただけの寺」と口になされて、境内整備に邁進されていた姿を思い出します。

そこでこれらの浄業を讃え、川澄大僧正の足跡を後世に残す意味で、この度大日堂大玄関の左側に冒頭の句を刻んだ句碑を建立することとなりました。み仏が教えを常に説かれて衆生を済め続けられているように、当山の五重塔の風鐸も鳴り止むことなく、川澄大僧正の温かな眼差しもまた、常に皆さまに注がれていることと思います。

お不動さまの心——(一一三)

現代の世相から (73) 廣 澤 隆 之

先だって私の住持する寺に近所のお年寄りが訪ねてきました。八十歳も半ばになった彼は足どりもおぼつかなくなっています。幼い頃からの知り合いなので、今の彼が老いた姿になっているのを見ると、時の流れを実感します。

た。そこには彼の妹とおぼしき人の戒名も俗名もありません。私が「ここにも書いてないし、覚えがないけど、どうなのかな」と尋ねました。すると彼は「そうよ、三歳で死んじゃってな、ずーっと気になってたんだ」と話してくれました。

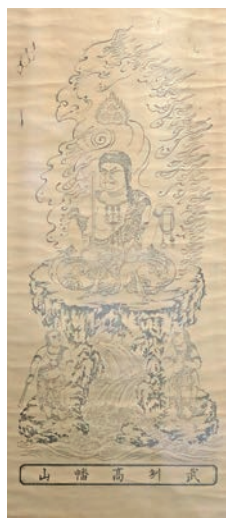
彼は妹の立ち日に塔婆供養をしたいと申し込みにきたのです。近所ですので昔の家族構成もよく知っているので「妹？妹ってヨシエちゃんとかヨコちゃんじゃないの。死んでないのに、どういうこと」と私は尋ねました。訥弁の彼はうまく説明できませんが、手には皺くちやになった紙片を持っています。その紙を見ながら「妹の・・・」と話すのです。私は「おじさんとおばさんの葬式はしたけど、妹って誰のことなの」と畳みかけるように尋ねました。

すると彼は「あのな、十七年に死んだ妹だよ」と言います。平成十七年に亡くなっていたれば今年には十七回忌にあたります。そこで玄関に張り出してある檀徒の年回忌一覧の掲示を見まし

平洋戦争が始まりましたから、彼の妹さんは真珠湾攻撃から約半年後に亡くなったいたのです。その妹さんを気につけて、このように塔婆供養を願う彼の中には三歳のままで七十九年間も妹さんが生き続けていたのです。八十歳も半ばになった老人の脳裡では、自分が幼かった昭和十七年の出来事がそのままに、いきいきと思ひ浮かべられているのでしょう。老いた人の思いの深さを思い知りました。

老人は

過去の出来事を頻りに思い出し、その思いの光景が



「不動明王及二童子」
江戸時代

長続きする間に現実感をもって受けとめられるようになるのではないかと推測します。直近の日々の経験はとて早く移りゆくので記憶されにくいのに、過去の出来事は年齢を重ねるにつれ現実感を増すのではないでしょう。

私も今秋には後期高齢者に仲間入りの老人ですが、自分では自覚できないうちに過去の出来事をこのように頭の中でつくり出しているのではないかと一人の老人に教えられた気がします。

このようなことを考えて自分を見つめなおすと、たしかに思いあたるふしがあります。

小学生の孫との会話では学校生活や友だちのことが頻りに話題になります。孫の話聞きながら合の手をいれますが、その時に孫に今から六十五年も前の学校での出来事を話している自分に気づきます。孫がそのような私の話を喜んで聞いて、昔のことをいろいろと尋ねてくれます。私は調子にのってさらに

話します。しかしこのように私の話を聞いてくれるのは孫の私への優しい気遣いなのかもしれせん。そして孫の上手な年寄り扱いに乗じて私は何度も話しているうちに、昔の出来事が鮮明な現実感をもって蘇ります。

おそらく私が語る小学生時代の話は客観的な事実ではなく、自分を美化しようとする意図を秘めて脚色された物語になっているでしょう。しかもその物語が妙に現実感をもってしまふのです。

私のような老人は、譬えれば、記憶容量の小さなコンピュータです。もはや日々の経験は記憶容量を超えています。今日から明日への活動に必要な最小限の経験を記憶装置に記入するだけです。そして記憶装置を最適化するために過去の出来事を自分が納得できる限りでの楽しみや悲しみの思い出に変換しているのです。

過去を生きたとはこのようなことかもしれません。そしてそれが一人一人の現実なのでしょう。このようにして老人は老人なりに今を生きているように思えます。思いで深い亡くなった人と共にいる実感いだきつつ最期の時を迎えるのでしょうか。このような無数の記憶の営みが無限に繰り返されるのがこの人の世なのかもしれません。

その無数、無限の人の営みをやさしく見つめる眼差しが仏さま、お不動さまから向けられているのです。七十九年前に亡くなった彼の妹さんも、彼の記憶も、塔婆供養の信心によってすべて慈悲の世界の出来事に昇華します。

廣澤隆之先生のプロフィール

●大正大学名誉教授

●浄福寺住職

ご 奉 納 御 札

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申しあげます。

(敬称をすべて省略させていただきます)

境内整備緑化資金

寄進者芳名

(令和三年二月一日～四月三十日)

日野市 小宮 晴司
国分寺市 伊藤 澄恵

日野市 水谷 圭子
彦根市 西澤 政男

千体地藏尊

奉安者芳名

(令和三年二月一日～四月三十日)

東和和市 朴 俊一
横浜市 蔡 淑玲
横浜市 陳 素珠

一、品名 非常用発電機

奉納者 日野市

土方

孝



一、品名 カキツバタ・一鉢

奉納者 町田市

吉原

辰男



一、品名 マスク

奉納者 国立市

佐藤

ふじ子
(手作り)

御護摩札郵送のご案内



大護摩札
30,000円以上
送料 800円
長さ 58cm



中護摩札
10,000円
送料 800円
長さ 52cm



護摩札
5,000円
送料 600円
長さ 45cm



護摩札
3,000円
送料 400円
長さ 37cm



懷中札
3,000円
送料 300円
長さ 11cm



交通安全祈願札
3,000円
送料 300円
長さ 15.5cm

当山では御護摩札の郵送による授与も受け付けております。

郵送ご希望の方は、必要事項（お名前、お願い事、生まれ年、郵送先住所、ご連絡先等）をご記入のうえ、郵便（葉書、封書等）、又はFAXでお申し込み下さい。御札が届きましたら、同封の払込取扱票（郵便局）にてご送金下さい。

お申し込み・お問い合わせは高幡不動尊事務局まで

〒191-0031 東京都日野市高幡 7 3 3 番地

高幡不動尊 護摩札郵送係

電話 042-591-0032 FAX 042-593-3038

※電話、メール、インターネット等での申し込みは受付していません。

御札を複数郵送希望の場合、送料の金額が変わります。



「天上天下唯我独尊」～お釈迦さまの誕生を祝う 4/8

高幡不動尊 フォトニュース



お揃いのマスクで木遣り～江戸消防記念会 4/28



あじさいの枝切作業 3/29



日野市立夢が丘小学校児童の作品 4/2

疫病退散大護摩供毎座勤修

新型コロナウイルス感染症に罹^り患^{かん}された方々の快復と一刻も早い終息を祈念しております。



千体地藏尊総回向法要 4/29



花まつり～高幡山遍照講御詠歌奉詠 4/8



密を避けて～おみがき 4/20



新選組隊士慰霊法要 5/8



僧侶のみで大護摩供を勤修 4/28



日野七福神めぐりの展示 3/24

夏の行事案内 (六月～八月)

◇六月

○1日(火) 30日(水) 高幡不動尊あじさいまつり

○13日(日) フリーマーケット

○15日(火) 青葉まつり(弘法大師・興教大師ご生誕慶祝法要)

法話 午後一時より 於大日堂 (聴講無料)

(詳細は下段参照)

法要 午後二時より 於大日堂

○15日(火) お焚き上げ(午前九時)

○20日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(月) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(木) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(月) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

◇七月

○11日(日) フリーマーケット

○15日(木) 孟蘭盆会法要(午前六時) 於 大日堂

○18日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(水) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(土) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(水) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

◇八月

○15日(日) 孟蘭盆会大施餓鬼法要

法話 午後一時より 於大日堂 (聴講無料)

法要 午後二時より 於大日堂

○15日(日) ござれ市(がらくた市)〈雨天決行〉

○21日(土) 月例写経会(午後一時三十分) 法話 山内僧侶

○24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶

○28日(土) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

青葉まつり記念法話



・日時 六月十五日(火) 午後一時から

・会場 大日堂

・講師 真言宗智山派智山教化センター専門員
深谷市 地藏院御住職

吉田 住心 先生

・演題 「真言宗の法要では何をやってるの？」

どんな気持ちで参拝すればいいの？」

青葉まつり……

真言宗の宗祖弘法大師空海上人は宝亀五年六月十五日に四国善通寺でお生まれになり、真言宗中興の祖興教大師覚鑊上人は嘉保二年六月十七日に九州肥前国でお生まれになりました。両祖大師のご誕生を慶祝し、その業績を讃える法要です。

御詠歌始めませんか

『密厳流御詠歌』講員募集のご案内

御詠歌とは和歌調の詞に節を付け鈴・鉦を使ってお唱えする仏教歌で、花まつり、萬燈会などの法要でお唱えします。高幡山では次のとおり御詠歌の新講員を募集しますので、大勢様ご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

一、名 称 遍照講高幡山支部

一、参加資格 どなたでもご参加いただけます

一、指 導 密厳流遍照講師範

一、会 費 一ヶ月 参千円(但し、鈴・鉦などの道具は別費)

一、稽古日時 月二～三回 午前十時～十二時

問い合わせ先 高幡不動尊内遍照講高幡山支部

電話 ○四二(五九一)〇〇三二

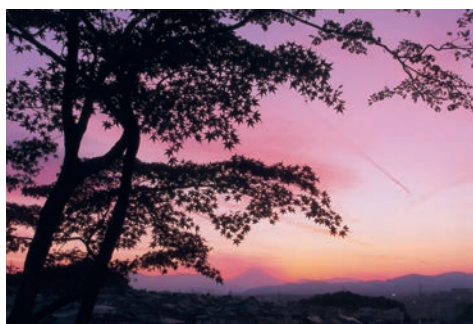
仏の国に花の咲く

水無月半佳日なり

天地こめて衆生を呼ぶ

両祖大師の降誕会

「両祖大師誕生和誕」



令和元年四季の部 銀賞
「不動ヶ丘からの夕焼け」
立川市 本沢 七朗



令和元年四季の部 銀賞
「節分の賑わい」
八王子市 佐野 軍英



令和元年四季の部 銀賞
「奉納神輿 寺務所前の熱気」
日野市 設楽 誠一



令和元年あじさいの部 金賞
「可愛いね」
日野市 野村 明雄



令和元年四季の部 金賞
「お稚児行列」
国分寺市 本多 忠雄



令和元年あじさいの部 銀賞
「梅雨の晴れ間」
日野市 小山 乾



令和元年あじさいの部 銀賞
「梅雨空の華やぎ」
日野市 羽賀 道行



令和元年あじさいの部 銀賞
「朝日浴びる初夏の高幡不動尊」
東大和市 木村 純平

あじさいまつり写真コンクール作品募集

テーマ①あじさいの部…令和二年のあじさい並びに令和三年

あじさいまつり期間中の高幡不動尊
及び門前町の行事・風物や、あじさい等の作品

②四季の部……令和元年七月以降の高幡不動尊及び

門前町の四季の風物、行事等の作品

サイズ カラープリント「六ツ切以上四ツ切迄・縁ナシ・ワ

イド可」

締切 令和三年六月三十日（水）必着

応募規定①期間中に撮影の自作品（未発表のもの）

②作品ごとに応募票を貼付 ③資格は高校生以上

④作品に関する肖像権は応募者本人の責任となります。

尚、応募作品は原則として返却致しません。

入選発表は八月月上旬に郵便でお知らせします。

あじさいまつり諸行事案内 (六月一日～三十日)

- 山内八十八ヶ所巡りクイズの会……………(毎日)
 - 奥殿特別寺宝展及び鳴り龍拝観……………(毎日)
 - 茶庭拝観……………(毎日)
 - 五重塔無料休憩所開設(百五十名収容)(午前九時～午後四時)……………(毎日)
 - リサイクル・フリーマーケット(雨天中止)……………六月十三日(日)
 - 青葉まつり(両祖大師ご生誕慶祝法要)……………六月十五日(火)
 - ござれ市(がらくた市)……………六月二十日(日)
 - 月例写経会(山内僧侶法話午後一時三十分より)……………六月二十一日(月)
 - 千体地藏尊月例法要……………六月二十四日(木)
 - ご縁日……………六月二十八日(月)
- ※コロナウイルス感染状況により中止の可能性もございます。

あじさいまつり期間中

開催をとり止める行事

新型コロナウイルス感染症拡大の為

例年開催されている左記の行事を中止と致します。

- ・薄茶接待
- ・少年柔剣道奉納大会
- ・日本拳法奉納大会
- ・空手奉納大会

紫陽花 不動香発売

一箱 一、〇〇〇円
(六・七月限定)



あじさいまつり俳句・短歌大会作品募集

兼題 高幡不動尊境内及び門前町の四季囀目作品(未発表作品に限る)
応募 一組 二句又は二首(一人何組でも可)
用紙 規定の用紙又は二〇〇字詰め原稿用紙(B5版)使用のこと。
入花料 投稿時納入 俳句・短歌とも一組一〇〇〇円
(但し記念大会参加料を含む)

投稿先 日野市高幡七三三 高幡不動尊あじさいまつり事務局宛
(〒一九一〇〇三二)

締切 令和三年七月七日(水)まで(当日必着)

選者(肩書等略・五十音順)

俳句 大久保白村・大竹多可志・柏田浪雅・才野 洋・

笹木 弘・鈴木貞雄・鈴木節子・高橋悦男・

星野高士・矢島艶子の諸先生

短歌 大河原惇行・狩野一男・長澤ちづ・松坂 弘の諸先生

掲出 入選作は九月末まで宝輪閣又は五重塔々院に掲出する。



上段 この寺の
風鐸の音
濃あぢさいゐ

盤水

第二十六回まで選者をお勤めいただいた皆川盤水先生句碑

(境内、五部権現社前)

下段 未来図は
直線多し
早稲の花
柚子

第三十六回まで選者をお勤めいただいた鍵和田柚子先生句碑

(境内、大日堂前)





うずあじさい



コンペイトウ



しまなみの光



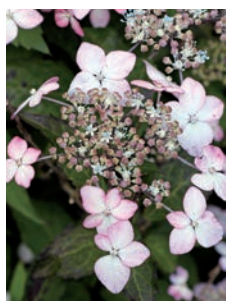
ババリア



よさこい踊り



安居の誉れ



羽衣の舞



益城花八重



沖縄コンテリギ



屋久島白香



岩見ナデシコ



九重花吹雪



月が谷テマリ



瀬戸の鶴姫



土佐のまほろば



土佐の青い鳥



土佐紺青



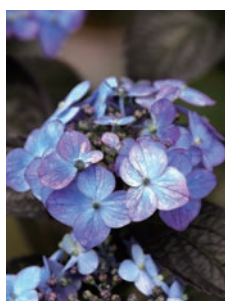
土佐美鈴



土佐遊蝶



美里紫



坊が鶴テマリ



未来



野黒緋



楊貴妃



流星光

「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」刊行のお知らせ

平成四年に出版された「多摩八十八ヶ所巡拝のしおり」を再編し、新冊子として刊行致しました。令和五年には弘法大師御生誕一二五〇年を迎えますのでお大師様の信仰を深め八十八ヶ所巡拝をされてはいかがでしょうか。

一部 一、〇〇〇円

※ご希望の方には郵送致します。

(送料三〇〇円)

〇四二五九一―〇〇三二

龍華会まで



く 献花のおすすめく

お花講 講員の募集

当山ではお花講講員の皆さま方の会費により、山内全ての伽藍のお花を飾らせていただいております。毎年秋季大祭大般若会（九月二十八日）に御招待（法話・大般若会参加・お護摩札授与・精進料理接待）致します。大勢様ご入講下さいますようご案内申し上げます。

記

一、名称 高幡山お花講

一、会費 一ヶ月

五〇〇円

※入講は随時承っております。

ご入講の皆様には輪袈裟を授与します。



山主の主な動静

3/20 彼岸会法要・3/21 正御影供法
要・3/25 新選組まつり実行委員
会・3/26 日野七福神総会・4/8 花
まつり法要・まちおこし連絡協
議会・4/13 4/15 三宝院流報恩院
方一流伝授(京都)・4/22 観光協
会々議・4/22 多摩菊花連盟会議
・4/28 春季大祭・4/29 千体地藏尊
総回向法要・5/8 新選組隊士慰
霊法要(大日堂)・5/15 先代川澄
貫主句碑開眼法要・5/20 責役会
・5/22 成田山新勝寺橋本照穂貫
首本葬(成田山)・5/28 五月大祭

◎あじさい御守授与 (二体 各五〇〇円)

あじさいまつり期間限定にて色とりどりのあじさい御守を授与しております。



高幡山金剛寺弘法大師八十八軀碑

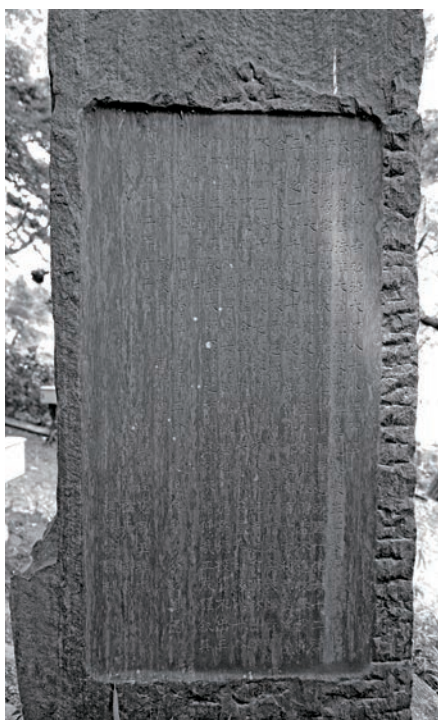
五月下旬より六月いっぱいにかけて、境内のあじさいが見頃を迎えます。あじさいの多くは、山内八十八ヶ所霊場巡拝路沿いに植栽されています。

巡拝路は明治四十二年に当山中興三十一世丸山覺雅和上が、四国八十八ヶ所霊場に倣い愛宕山に開創したものです。その入口には『高幡山金剛寺弘法大師八十八軀碑』が建てられており、

碑の表には大師流の書家であった尾形雲海師による「八十八垂迹」の篆額、中央には「**南無大師遍照金剛**」と大書され、池田金太郎氏ら八名の発願者の名も確認でき、碑の裏には当山第三十世朝倉玉雅大僧正の撰述による開創の趣意が刻まれています。

また同年十月に発行された勧募の趣意書である『弘法大師尊像八十八体ヲ武州高幡山金剛寺ニ安置スル募縁疏』には「四国霊場ノ巡拝絶エルコトナシ。然ルニ或ハ老幼、或ハ家業ニ暇ナクシテ、志アリテ遂グル能ワザルヲ憾トスル者」と巡拝に出かける事の叶わない人々の心情を思い、つづけて「大師ノ尊像ヲ安置シテ 人々ニ結縁セシメント遂ニ之ヲ立願シテ」とお大師様と多くの人々との縁が結ばれることを願って、八十八体の大師像を安置するための資財を募る旨が述べられています。

また先の『弘法大師八十八軀碑』には「先ヲ争ヒ投貫スルコト三句ヲ出デズシテ」と、ひと月を待たずして寄進が集まったことが記され、多くの人の賛同を得られたことがわかり、八十八体の大師像の台座には寄進者の名が刻まれています。



山内八十八ヶ所 巡りクイズ

多摩丘陵の一角を占める高幡不動尊、三万坪余りの境内は千古の緑に包まれ四季折々の花木を楽しむことができます。裏山には明治四十二年開設の山内八十八ヶ所の弘法大師像がまつられており森林浴を兼ねてのお参りは約一時間。あじさいまつり期間中巡拝路沿いに十問のクイズが出され、毎年大勢の方がクイズを楽しみながら参拝されます。

解答用紙は、不動堂前、五重塔無料休憩所、五重塔外階段下、大日堂、大師堂、交通安全祈願受付所、山内八十八ヶ所一番札所に置いてあります。解答は事務局か宝輪閣受付へお持ち下さい。

尚、正解者の中から抽選で一五〇名の方に賞品を差し上げます。



山内消息

東日本大震災から十年

大震災が発生してから今年で十年の月日が経ちました。当山では毎年三月十一日十四時四十六分、地震が発生した時間に合わせて、震災で亡くなられた方々の御霊に梵鐘を撞いて供養の心を捧げております。十年を迎えた今年は、鐘を十回撞き、鎮魂を祈り、一日でも早い被災地の復興を祈念させて頂きました。

(小澤記)

あじさい枯枝剪定(3/29・30)
本日は、山内職員でアジサイの枝切りを行いました。昨年は、コロナ禍でアジサイまつりが残念ながら中止と



東日本大震災慰霊の鐘

なりました。今年こそは、御参拝の皆様にあじさいを楽しんでいただきたいという気持ちで枝切りを務めました。

(松本記)

日野市立夢が丘小学校作品展
五重塔塔院大ホールに、五重塔の模型が展示されています。

これは地域との関わりを持ち、愛着を育むことを目的に市内夢が丘小学校六年生(今春卒業)四名の児童が作成したものです。コロナ禍の為にクラブ活動が中止になってしまい、製作に十分な時間がとれないという制約の中での作業となり、苦労も多かったそうです。

土台と池は焼き物で、塔は紙を用いて作られており、屋根瓦の質感を出すのにグルーガンを使用するなど随所に工夫が見られます。

六月末までの展示予定です。一度足をお運びください。

(直井記)

花まつり(灌仏会)

灌仏会は、お釈迦様のお誕生を祝う行事です。日本では四月八日に行われ、花まつりと呼ばれて親しまれています。他に降誕会、仏生会、浴仏会、龍華会、花会式等の別名もあり



お釈迦様の誕生を祝い御詠歌を詠唱

ります。

四月四日～八日まで甘茶接待があり、毎日多勢の方で賑わいました。

花まつり法要は、御詠歌付(「不動和讃」)のお練りにて始まり、不動堂正面に荘厳された花御堂にて読経、遍照講高幡山支部の皆様による「釈迦牟尼如来誕生和讃」が奉詠されました。つづいて不動堂に進み大護摩修行、御詠歌は「高幡不動尊縁起和讃」をお唱えしました。

春の穏やかな好天に恵まれ、お釈迦様の誕生仏に甘茶を濯ぐ参拝者の列が法要中途切れず続いていました。

(伊大知記)

春の全国交通安全運動

四月十日、境内からかわいらしい声が聞こえてきました。鮮やかな緑色の制服にオレンジのベレー帽ととても目を引く格好の「日野交通少年団」たちです。彼らは四月六日～十五日の「春の全国交通安全運動」により、当山でも活動を行ってくれました。いつもなら元氣よく手渡しで案内を配ってくれるのですが、今年は感染症予防の為カゴに入れて皆さんに取っていただく仕様にし、しっかりと対策を取っていました。

大きな声を出せない中、懸命に配る姿に、交通少年団の目的でもある「やさしさと思いやりの心」を感じ、これからもよりいっそう気を引きしめて交通ルールを守ろうと思いました。

ちなみに日野交通少年団は団員の募集を行っているそうです。主な活動は「交通安全啓蒙活動」「自転車講習」「鼓笛演奏」「老人ホームへの訪問」「しめ縄作り」「書初め」「じゃが芋苗植え」「収穫」等々様々な体験活動を行っています。気になった方は是非、日野警察署交通総務係(電話〇四二(五八六)〇一一〇)

までご連絡下さい。

(吉田記)

東京日野ロータリークラブ
創立五十五周年記念例会
(記念茶会)

当山では毎月第一・第三週、水・金曜日に表千家・裏千家の茶道教室が行われております。

去る四月十四日、今年創立55周年を迎える日野ロータリークラブ様より依頼を受け、裏千家水曜教室(鬼塚宗佳先生)お点前の記念茶会が知足庵にて開催されました。

厳しいコロナ禍ではありますが、鬼塚先生からの解りやすい作法のご指導もあり、会員皆様気軽に楽しく茶道の一期一会の世界を体験させて頂きました。

(清水順記)



緊張の面持ち ロータリークラブ研修

おみがき

四月二十日、国宝まつりに先立ち山内職員と遍照講高幡山支部の皆様方で仏器を磨くおみがきを行いました。

例年は五重塔地下の千体堂を会場としますが、今年は感染予防策として、より広い宝輪閣地下全面を使つての作業となりました。仏器は全御堂ほぼ全ての仏器を磨くので、運ぶだけでも大変です。その上、不動堂の仏器は護摩の煙や煤でとても汚れているので磨くのは大分苦勞します。しかし、ピカピカに光り輝く仏器を見ると心が清らかになったように感じ、疲れを忘れま

す。皆様もご自宅のお仏壇にある仏器を磨いてみてはいかがでしょうか。きっと仏様やご先祖さまも喜び、清々しい気持ちになることでしょう。

(杉田周記)

春季大祭国宝まつり

今年の国宝まつりは当初、お稚児練、お神輿パレード、五重塔仏伝彫刻拝観、講演会、落語会等を中心し、縮小しての開催予定でしたが、三度目の緊急事態宣言を受け、更に縮小し、二十八日午前五時から世界平和祈願大護摩供法要、

二十九日午前十時から千体地藏尊総回向法要を僧侶のみで勤修し、ご祈祷札は全て郵送させていただきます。

新選組慰霊法要

当山は新選組副長土方歳三の菩提寺であり、歳三の書簡や明治九年銘・明治二十一年建立の殉節両雄之碑(故幕府新選組隊士近藤昌宜・土方義豊碑)など幕末・新選組資料を多く所蔵しております。

五月十一日は土方歳三の御命日にあたり、本年は五月八日十時から御位牌(歳進院殿誠山義豊大居士)が安置されている総本堂の大日堂に於て新選組慰霊法要を勤修し、新選組全隊士の菩提を弔いました。



新選組隊士のお位牌

先代句碑除幕式

五月十五日、先代川澄祐勝大僧正の句碑建立にともない総代と奥様参列の中、除幕式が行われました。川澄大僧正は俳句を親しまれ「煤掃」「風鐸」「御廟みち」などの句集を刊行されました。

(写真巻頭)

ニユーフェイス紹介

この春より高幡不動尊で共に皆様をお迎えする仲間が二人増えました。今回は二人の事を少しでも知って頂くために一問一答方式でご紹介いたします。

まず一人目は、今年三月に総本山智積院での修行を終えたばかりの



大山 義祐 君

です。

Q、好きなお経は？

A、涅槃会でお唱えした「舍利和讃」です。

Q、アピールポイントとは？

A、声だけは大きく出せます！

Q、最後に意気込みをどうぞ？

A、一日でも早く高幡不動尊の力になれる様、日々精進して行きますので、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

A、趣味は旅行、特技は車の運転です。

Q、好きなアーティストは？

A、小倉唯さんです。

Q、好きな言葉は？

A、「安全運転」です。

Q、好きな食べ物？

A、カレーです。

Q、アピールポイントは？

A、元氣良く挨拶します。

Q、最後に意気込みをどうぞ？

A、高幡不動尊に参拝される御信者様が気持ち良くお帰り頂ける様に日々自己研鑽に努めて参ります。宜しくお願い致します。



岩崎 嵩明 君

学生時代には高幡不動尊でのアルバイト経験があり、またライフセーバーをしていた事もある大山君は、その体格も然る事ながら、今後共に勤める僧侶として頼もしい存在になってくれる事と思います。

二人目は宝輪閣の受付業務を担当する

岩崎嵩明君です。

Q、出身地は？

A、東京都立川市です。

Q、趣味、特技は？

電車の運転士、車両整備の職歴があり、その経験からかハキハキとしている所がとても印象的です。

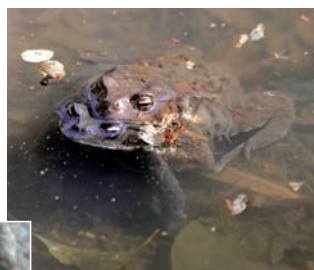
二人とも当山でのアルバイト経験はあるものの、これから未経験の事も多くあると思いますが、若さと各人の持ち味を活かしてくれたらと思います。

(五十嵐記)

高幡いきもの曼荼羅 ⑮

水も温む三月のある朝、境内の水場では久しぶりにヒキガエルの産卵が見られました。ヒキガエルは山内で時々見掛ける大型のカエルで、水中で紐状に膨らむ卵を産みます。今回はアカガエルと同じ水場での産卵ということで、しばらく観察することにしました。ところがある日、カルガモの夫婦が同じ水場でカエルの卵を掬って食べているではありませんか。

カルガモは毎年境内の弁天池で産卵し、一昨年には見事に雛を誕生させました。ただ今年は早々に巣を放棄した様子で、おそらくアオダイシヨウに卵を狙われたものと思われま



ヒキガエルの産卵



カルガモの親子（一昨年）

がつてきますが、これも遙か昔から延々と続いている生の営みであり、そこに人の行為が入り込む余地はありません。往々にして人は生態系の頂点と錯覚し、その立場で物事を捉えてしまします。しかし人類が繁栄しているかに見えるのは偶々であって、自然界に於ける僅かな刺激がその種の存亡に関わるのは良くあることなのです。



夏にはクワガタに出くわすことも

なにげなくつかっている仏教のことば——入道（にゅうどう）

入道とは仏道・仏門に入る

た。

ことです。もとは出家と同義でしたが、平安期になると寺院に入らずに俗のまま僧侶と同様に剃髪した者を入道と呼び、世俗を捨て寺院に入って僧侶となることを出家と呼んで区別するようになります。

鎌倉期以降になると、武士のまま入道剃髪する者が多くなり、その容貌が大きく立派であり、猛々しいことからの連想により、坊主頭の大男や妖怪を大入道と称するようになります。また、ゴンドウク

ジラ（ゴンドウイルカとも）を坊主頭をした大きなイルカの意で、入道イルカと呼ぶ地域もあるようです。さて、今はまだ梅雨ですが、入道雲が沸き立つ夏はもうすぐです。

（小林靖典）

「在宅写経」のすすめ

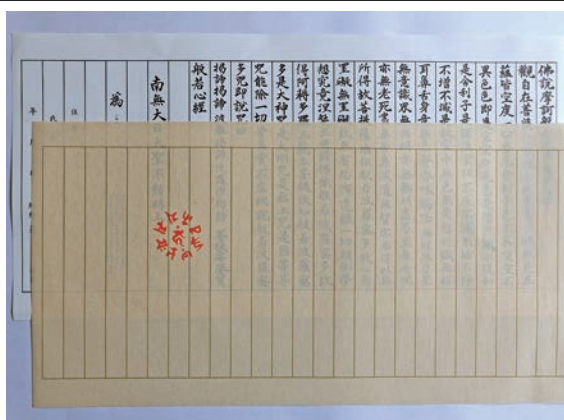
高幡不動尊では檀信徒の皆さまにご自宅で出来る写経用紙をご用意しております。時節柄、ご自宅にいる機会が多い時に、ご自身の修養の為に写経を始められる事をおすすめします。

写経用紙 一巻 二、〇〇〇円（送料 三〇〇円）

写経用紙を郵送ご希望の方は、電話又はファックスで高幡不動尊事務局までご連絡下さい。写経用紙と一緒に払込取扱票を同封しますので、郵便振込でお支払い下さい。振込手数料は無料です。（複数巻ご希望の方は電話にてご連絡下さい）

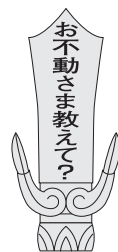
電話 〇四二（五九一）〇〇三二

ファックス 〇四二（五九三）三〇三八



※ファックスでお申し込みの方は、当山のホームページから申込書を印刷してご利用下さい。

※書き終わりました写経用紙は、当山にご返送下さい。写経用紙は当山のご本尊・不動明王様の御宝前にご奉納させていただきます。



お不動さま教えて?

ご質問 高幡不動の境内奥にある本堂に安置されている、本尊大日如来の向って左のお像について、どうかお不動さま教えてください。

(前号・前号のつづき)

お答え はい、お答えいたします。

前号までは、お像が覚鑓上人であること、そのご生涯を生い立ちから高野山金剛峯寺の座主になり、その後、根来の地へと移るまでをお話し致しました。そこで今号ではそのつづきをお話しすることになります。

根来の地へ

——錐鑓不動——

高野山上での旧来勢力との軋轢による根来への移住にあたって、次のような話が伝えられています。

保延六年(一一四〇)十二月八日の早朝、旧来勢力の一部の衆徒が暴徒と化し、覚鑓上人の住まう密厳院に乱入した。このとき堂内には覚鑓上人の姿がなく、壇上には二体の不動明王が並んで坐している

るだけでした。暴徒たちは、どちらか一体は覚鑓上人に違いないと考え、二体の膝に矢を突き立てねじ込みました。しかし二体の不動明王の膝から血が流れ出たため、驚いた暴徒たちは退散したというものです。この不動明王は弘法大師空海の御作とされるもので、錐鑓不動(きりもみふどう)と称し、今も根来寺(和歌山県岩出市)に鎮座し、信仰をあつめています。



像大師教興

入 滅

根来の地へと移った覚鑓上人は、新たに堂宇を建立し、高野山上とかわることなく、真言密教の教を修学する法会である伝法会を続けられましたが、康治二年(一一四三)十二月十二日、風氣を患った覚鑓は根来山円明寺にて入滅されました。四十九年のご生涯でありました。その後、元禄三年(一六九

〇)、東山天皇より「興教大師」が諡されました。これにより私たち智山派では「南無興教大師」とお唱えしています。また、常に阿字観や月輪観を修していたことから、「内観の聖者」と尊称されています。

真言宗智山派の

成り立ち

その後、根来山には全国から多くの学僧が集まり、隆盛を誇りましたが、一

方では一大軍事勢力として戦国の動乱に介入するようになり、その結果、天正十三年(一五八五)、豊臣秀吉軍の攻撃を受け、二千七百有余もの堂宇は大伝法院と大塔(現、国宝)を除いて、一夜にして悉く灰燼と帰しました。難を逃れた専誉(一五三〇〜一六〇四)と玄宥(一五二九〜一六〇五)の両能化はそれぞれ学僧を率いて、専誉は奈良の長谷寺へと移り現在の真言宗豊山派と、玄宥は洛東の智積院へと移り現在の真言宗智山派となっています。現在、高幡不動尊金剛寺は別格本山として智山派に属しています。

御◆案◆内

交通安全祈願

午前九時〜午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

御護摩修行

〇平日 八時・十時・十一時半・一時・三時

〇土曜・日曜・祝日

八時・十時・十一時半・一時・二時半・四時

〇但し一日、十五日の午前中は五時・十時・十一時半

〇ご縁日(二十八日)

五時・九時・十時・十一時・十二時・一時・二時半・四時

御護摩料

金参千円也
金五千円也
金壹万円也

(大護摩) 金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日

フリーマーケット(リサイクル市) 毎月第二日曜日(雨天中止)

ござれ市(がらくた市) 毎月第三日曜日(雨天決行)

お焚き上げ

毎月十五日午前九時

月例写経会 毎月二十一日午後一時半

千体地藏尊月例法要 毎月二十四日午後二時

奥殿拝観(月曜休館)

午前九時〜午後四時

拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襖絵拝観
午前九時〜午後四時
参拝料 二〇〇円 (月曜休館)

※日時等の予定は変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

編集室だより

目に青葉の時季も過ぎ、九州では例年より早い梅雨入り宣言、愈々、紫陽花の頃となり、境内各所でもちらほらと開花し始めました。

緊急事態宣言の再発令で、諸行事の中止、縮小の状況です。事前にお問合せの上ご参拝ください。

当地でも連休明けから高齢者のワクチン接種が始まり徐々に進んでいる模様です。山内一同、気を緩めることなく対策に努めてまいりますので宜しくお願いいたします。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733
別 格 本 山
高 幡 山 金 剛 寺
電 話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038
発行人 黒川 高德
編集人
年 4 回発行・再生紙使用

高幡不動尊境内略地図

山内八十八ヶ所とあじさいマップ

可憐な山あじさい(6月上旬・中旬)
あじさい、かくあじさい(6月中旬・下旬)
彼岸花(9月中旬・下旬)

山内八十八ヶ所巡拝路
四季のみち
あじさいのみち

- 不動堂……毎日護摩修行・新文六不動三尊参拝
(どなたでもご参加頂けます)
- 奥 殿……日本一の不動三尊(重文)・大日如来像(平安時代中期)
ほか指定文化財・新選組資料・寺宝多数展示
- 大日堂……鳴り龍・襖絵(後藤純男作 桂林朝陽夕柱)・新選組位牌等多数展示
- 五重塔……無料休憩所・千体地藏堂参拝・釈迦三尊像参拝

- 御護摩修行
- 平日 8:00・10:00
11:30・1:00・3:00
 - 土曜/日曜/祝日
8:00・10:00・11:30
1:00・2:30・4:00
 - 但し1日、15日の午前中は
5:00・10:00・11:30
 - ご縁日(28日)
5:00・9:00・10:00・11:00
12:00・1:00・2:30・4:00
- 交通安全折願
- 午前9:00～午後4:30(30分毎)
受付は各回5分前までにお申し込み下さい。
- 月例写経会
毎月21日 午後1:30
- 千体地藏尊月例法要
毎月24日 午後2:00

フリーマーケット(リサイクル市)
毎月第2日曜日(8月はお休み)
ござれ市(からくた市)
毎月第3日曜日



別格本山 高幡山金剛寺 〒191-0031 東京都日野市高幡733
電話 (042) 591-0032(代) FAX (042) 593-3038

